

# 第31回社会地質学シンポジウム

主催：社会地質学会

共催：日本鉱物科学会，日本情報地質学会，日本第四紀学会，  
(NPO)日本地質汚染審査機構，IMGA, Japan Chapter

後援：日本地質学会，IUGS-IFG



期日：2021年11月26日(金)・27日(土)

開催方式：オンラインシンポジウム (ZOOMミーティング使用)

参加費 (論文集込み)：社会地質学会員 3,000円 非会員 5,000円

\* ホームページからの事前登録が必要です (事前登録締め切り：2021年11月24日)

\* 非会員で共催・後援団体会員は非会員費用から一律1,000円引 学生 無料 (論文集無し)

\*\* CPDの取得が可能です

特別講演 (一般公開：Youtubeライブ)：外務省 地球規模課題審議官(大使)

小野 啓一氏

「グローバル課題に関する日本外交」

開始時間	演題・演者
	11月26日
09:50	開会のあいさつ 社会地質学会会長 村尾 智
09:50	<b>地質災害</b> 座長：川辺孝幸・田村嘉之
10:00	東京湾岸埋立地における2011年東北地方太平洋沖地震時に液状化・流動化した部分：千葉県習志野市臨海埋立地での調査結果から 小島 隆宏(千葉県地質環境研究室)・風岡 修
10:15	データ駆動型解析による古津波堆積物の化学的特徴の解明 佐藤 就太(東北大学)・中村 謙吾・渡邊 則昭・駒井 武
10:30	九十九里平野中部における上ガスの分布と噴出状況について 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・小島 隆宏・伊藤 直人・香川 淳・荻津 達・八武崎 寿史・吉田 剛
10:45-10:55	セッション討論
11:00-12:00	<b>【社会地質学会 総会】</b>
12:00-13:00	昼食
	<b>【特別セッション：東日本大震災から10年】</b> 座長：山田和芳・村尾 智
13:00	<b>【招待講演】原発事故から10年で学んだこと</b> 難波 謙二(福島大学共生システム理工学類)
13:30	<b>【招待講演】福島県内の環境における放射性元素の物質循環線量減衰のメカニズム</b> 駒井 武(東北大学大学院環境科学研究所)
14:00	放射性セシウム流出量に及ぼす林床状況の影響—福島県の山林の事例— 新里 忠史(日本原子力研究開発機構)・佐々木 祥人・渡辺 貴善・雨宮 浩樹
14:15	1F事故によって放出された放射性セシウムの岩盤中での挙動と起源 竹内 真司(日本大学文理学部地球科学科)・張 豊端
14:30	放射性セシウムによる地質汚染の推移 木村 和也(柳医療地質研究所)・古野 邦雄・佐藤 信哉
14:45-14:55	セッション討論
	<b>地質環境とナチュラルアナログ</b> 座長：新里忠史・竹内真司
15:00	炭酸塩コンクリーションの物理・力学的特性についての検討 後藤 慧(日本大学大学院総合基礎科学研究科)・中村 祥子・吉田 英一・竹内 真司
	<b>古環境</b> 座長：
15:15	鹿児島県蘭牟田池ボーリングコアの層序・年代と古環境学的価値について 山田 和芳(早稲田大学)・蘭牟田池プロジェクトメンバー
15:30	ボーリングコアの分析結果から見る鹿児島県蘭牟田池の環境変化について(概報) 吉元 周平(第一工科大学)・山田 和芳・中西 利典・村尾 智
15:45	関東山地跡倉ナップに含まれる緑色岩メランジュの緑色岩の起源について 片桐 星来(日本大学文理学部地球科学科)・竹内 真司
16:00	単元調査法原則設定からの層序学～上総層群本層を例に 木村 英人・楡井 久
16:15-16:25	セッション討論
16:25-16:45	総合討論
16:45-17:00	1日目発表の講演賞・奨励賞表彰

開始時間	演題・演者
	11月27日
	<b>都市地質</b> 座長：高嶋 洋・風岡 修
09:30	島崎城跡の周辺の地質環境と城の成り立ちについて 古野 邦雄(古関東深海盆ジオパーク推進協議会)・布施 太郎・風岡 修・山田 やよい・楡山 知世
09:45	利根川東遷の恩恵と水害 山田 弥生(古関東深海盆ジオパーク推進協議会)・塚本 昌明
10:00	人工地層による堰き止め地形 高嶋 洋(第一工科大学)・吉富 昌弥
10:15	霧島市国分地区における人工地層の発達過程と堰き止め地形 吉富 昌弥(第一工科大学)・田中 龍児・高嶋 洋
10:30	流水型ダムのダム湖底に広がる細粒堆積物が河川環境に及ぼす問題点 川辺 孝幸(山形大学名誉教授)・阿部 修・清野 真人・最上小国川の清流を守る会
10:45-10:55	セッション討論
11:00-12:00	<b>【特別講演：一般公開、Youtubeライブ】 外務省 地球規模課題審議官(大使)</b> 小野 啓一氏 「グローバル課題に関する日本外交」
12:00-12:45	昼食
	<b>地質汚染及び地下水</b> 座長：駒井 武・竹内美緒
12:45	自治体観測井により観測された関東地下水盆地の地下水位 古野 邦雄(古関東深海盆ジオパーク推進協議会)・香川 淳
13:00	広域地下水モデルのパラメータ逆解析—茂原市の汚染現場の例 藤崎 克博(環境地質コンサルタント)
13:15	北海道函館平野における地下水資源利用に向けた地下地質構造の把握 佐藤 瑞起(福島大学)・柴崎 直明・森野 祐助
13:30	高品質コアサンプリングの有効性の考察 植木 忠正(中央開発株式会社)
13:45	世田谷区桜上水地域に分布する更新統礫層の水理地質学的特性の検討 板倉 愛理(日本大学文理学部地球科学科)・竹内 真司
14:00	下総台地内の谷津田における水田土壌層中の地下水流動と地下水質の季節変化 風岡 修・伊藤直人・小島隆宏・齋藤幸一
14:15	水田土壌層における地下水流動と地下水質について—下総台地千葉市堂谷津において— 伊藤 直人(千葉県地質環境研究室)・風岡 修・小島 隆宏
14:30	Applying the 2D and 3D numerical simulation results of the 1,4-dioxane plume distribution to design the groundwater remediation active treatment Thatthep PONGRITSAKDA (The Graduate School of Environmental Studies, Tohoku University), Kengo NAKAMURA, Jiajie WANG, Chelsea LANGA, Toshikazu SHIRATORI, Noriaki WATANABE and Takeshi KOMAI
14:45-14:55	セッション討論
14:55-15:10	総合討論
15:10-15:25	2日目発表の講演賞・奨励賞表彰・閉会

**【Online Seminar】(第一工科大学主催、社会地質学会後援 英語 社会地質学会会員限定\*)**

Geological and Environmental Research Methodologies for ASGM	
"Present status of ASGM: observation and monitoring towards risk management of mercury"	
15:30	Opening remarks Stéphanie Laruelle(Secretariat of UNEP Global Mercury Partnership)
15:40	Real-time kinematic (RTK) to rapid topography assessment Ryoji Tanaka(Daiichi Institute of Technology)
15:55	Sedimentary science to assess mercury in "varve" Kazuyoshi Yamada(Waseda University)
16:10	Observation and description of human-made strata Osamu Kazaoka(Institute of Environmental Geology, Environmental Research Center, Chiba)
16:25	Development of smart mercury monitoring system using Quartz Crystal Microbalance-based Method Kazutoshi Noda(National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)
16:40-16:55	Discussions and Q&A
16:55-17:00	Wrap up

※1 11/27 15:30からの Online Seminar は社会地質学会会員限定。社会地質学シンポジウムに参加していた方はそのまま参加してください。Online Seminarのみ参加希望の方は office@jspmug.org まで申し込みください。



第31回社会地質学シンポジウム

<https://www.jspmug.org/envgeo/sympo/31st/sympo/31st/sympo.html>



第31回社会地質学シンポジウム参加申し込み

<https://forms.gle/sbr8fwkjpax3WtaA>

\* 表題・著者名は申し込み時のものです。事前の発表取り消しなどの情報は社会地質学会ホームページにてご確認ください。プログラムは変更されることがあります。最新版をホームページでご確認ください。

\*\* 本学会の書籍に限り、当日参加者に定価の半額にて注文いただけます。

その他問い合わせ先：社会地質学会 第31回社会地質学シンポジウム担当 office@jspmug.org